

令和6年度富山県スポーツ推進委員研修会 報告書

- 1 日時 令和6年12月8日（日）9：00～12：00
- 2 会場 高岡市ふくおか総合文化センター（Uホール）
- 3 参加者 270名（県内スポーツ推進委員、市町村生涯スポーツ担当者）
- 4 開会式

- (1) 開会の挨拶 富山県スポーツ推進委員協議会 会長 長谷 哲男
- (2) 歓迎の言葉 高岡市教育委員会 教育長 近藤 智久
- (3) 講師紹介 株式会社ドリームパイプライン 代表 安藤 秀樹 氏
富山GRNサンダーバーズ「きたえないジム」T-BIRDS Method
メソッドコンディショニング専属トレーナー 高橋 真 氏
高岡市スポーツ推進委員 研修部委員

5 表彰式

文部科学大臣表彰（2名）

南砺市	宮塚 功
小矢部市	福江 清美

富山県スポーツ功労者表彰（勤続10年）（3名）

富山市	高堂 福子
高岡市	川崎由紀江
立山町	金井 大輔

6 講演

演題「地域スポーツをより活性化するコミュニケーション力」

講師 安藤 秀樹 氏（株式会社ドリームパイプライン代表）

コミュニケーションの大切さ

コミュニケーションは技術であり、練習することによって上達し身につく、生涯必要なスキルである。地域スポーツにおけるコミュニケーションでは、参加者と指導者が目的を明確にし、それに合う言動をとることが大切である。

また、関係性の質を上げる（お互いが尊重し合う）ことで、良いコミュニケーションができて良い関係性（信頼関係の向上）を築くことができる。

コミュニケーションとは？

情報を伝える手段は全てコミュニケーションであり、信号機も看板もコミュニケーションの一種と言える。人のコミュニケーションでは、話している言葉以上に非言語（姿勢や表情等）や環境（距離や媒体等）が大きな影響を与える。

明日から使える3つのコミュニケーションスキル

①承認する

「小さくても、当たり前でもよいので、ポジティブなこと」を相手に伝えることが大切である。

承認するということは、相手に関心を寄せることであり、相手の個性や多様性を理解し、受け入れることでもある。

②質問する

質問する際は、YES or NO で返ってくる質問ではなく、「オープン・クエスチョン（7W1H）」を意識して質問することが大切である。そうすることで、相手が考えるようになり、主体性を育てることができる。

③励ます

ペップトークのように、「短く」「わかりやすく」「肯定的な言葉がけ」をすることが効果的である。

まとめ

非言語の持つ影響を理解し、承認の「ひと手間」を惜しまず、相手のためになる質問やポジティブな言葉がけをすることでコミュニケーションスキルが高められる。

7 実技研修

種目「身体の機能的な動かし方 ファンクショナルボディー」

講師 高橋 真 氏（富山GRNサンダーバーズ「きたえないジム」T-BIRDS Method
メソッドコンディショニング専属トレーナー）

アニメ忍たま乱太郎の主題歌「勇気 100%」に合わせた忍者体操や股関節と肩関節の動きに着目したストレッチ等を体験した。

忍者体操は、ハードな動きもあったため、「きつかったがいい運動になった」「子どもと関わる際の導入に使えるぞう」等と、今後に生かしていただけるような声も聞かれた。また、普段何気なく使っている股関節や肩関節の機能的な動かし方を知っていただくよい機会となった。



種目「ネットキャッチバレー」

講師 高岡市スポーツ推進委員 研修部委員

滋賀県の東近江市スポーツ推進委員協議会が考案した、東近江市発祥の「ネットでポンポイ」というニュースポーツをより簡単なルールに変更したものをを行った。

専用のネットを用いるため、最初は手こずっている参加者も見られたが、少しずつ慣れていくと子どもから大人まで世代を超えて楽しめるスポーツであることを実感していただけたようであった。



8 閉会式

閉会の挨拶 富山県スポーツ推進委員協議会 副会長 宮口 隆志